

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書（2020年度）

（1）教育活動連携事業部会

事業計画①	単位互換の推進
事業部会	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。（取組 1）
取組の概要	<p>目標（達成すべきゴールイメージ） プラットフォームで共同開発する授業科目の実施（2025年度に計8科目） ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、地域の特性を活かした授業プログラムを通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容 単位互換推奨科目の設定と共同授業科目の開発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 単位互換推奨科目に関する共通シラバスを作成し、WEB上で公開する。 2) フィールドワーク等での共同プログラムを開発するとともに、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。 3) 単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備も検討する。 4) 放送大学学園の教材やシステムを活用した単位互換や共同教育プログラムの開発を推進する。 <p>年次計画 2020年度 単位互換推奨科目：40科目、共同授業科目：2科目</p>
進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2020年度（前後期）72科目の単位互換推奨科目と、共通シラバスを作成し、WEB上で公開した。 2) 参画校の教員によるオンデマンド型授業やフィールドワーク等で構成される共同プログラム「まちづくり論」を開発した。また、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討している。 3) 単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備は各校設定済みである。 4) 放送大学学園の教材やシステムを活用した単位互換や共同教育プログラムの開発は、検討中である。
点検・評価	<p>2020年度に設定した「取組の概要」は、大半実施したので、評価できる。 ただし、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、各校の授業がオンライン授業になるなど、中長期計画では想定していない状況も発生した。 そのため、特に共同開発科目の科目数が目標値を下回った。このことについては、コロナ禍の状況を見極めつつ、適宜、対応していきたい。</p>

事業計画②	共同 IR 体制の構築と推進
事業部会	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	「教育の魅力」の向上（取組 2）
取組の概要	<p>目標（達成すべきゴールイメージ） 産学官連携プラットフォーム参画校での共同 I R の実施による、千葉市内の高等教育の課題の明確化及び課題の解決千葉市内の高等教育の課題を明らかにするために、共同 IR（学生調査等を実施する。調査結果に基づき、ちば産学官連携プラットフォーム参画校が共同し、連携しながら、千葉市内の高等教育の課題を解決することを目指す。</p> <p>具体的内容 共同 IR 体制の構築と推進ちば産学官連携プラットフォーム参画校の IR 担当者による意見交換、各校の共通項目の調査を行うことで、共同 IR 体制の構築を行う。また、毎年度、部会においてテーマを決定し、共同調査を実施する。共同調査の結果は、ちば産学官連携プラットフォーム運営委員会に報告し、プラットフォーム事業計画の実施、評価及び計画策定に活用する。</p> <p>年次計画 2020 年度 (1)各校の共通項目の調査、(2)共同調査の実施</p>
進捗状況	<p>①ちば産学官連携プラットフォーム参画校の学生意識調査アンケートを実施した。</p> <p>②2020 年 10 月 26 日に下記 3 点の内容で IR 研修会を開催した。</p> <p>1) IR 的な分析の事例紹介（様々な回帰分析の活用事例、ベータ回帰の活用事例など）を敬愛大学 IR・広報室長 工藤龍雄氏が担った。</p> <p>2) ちば産学官連携プラットフォーム参画校が実施している I R 調査の調査結果を淑徳大学 IR 推進室課長 中西規之氏が担った。</p> <p>3) ちば産学官連携プラットフォーム参画校の学生意識調査アンケート結果を淑徳大学コミュニティ政策学部 矢尾板俊平教授が担った。</p>
点検・評価	<p>IR 研修会として、IR 的な分析の事例紹介や、参画校が実施している IR 調査の調査、参画校の学生へ共通設問でアンケートを実施した結果の共有を実施したので、評価できる。</p> <p>次年度以降は、参画校の学生への設問を今後の部会で協議を進めていく。</p>

事業計画③	産学官・地域連携教育の検討
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。（取組 1）

<p>取組の概要</p>	<p>目標（達成すべきゴールイメージ）</p> <p>産学官連携やアカデミックリンク活動を通じた学修機会の提供 ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、 産学連携事業やアカデミックリンクの活動を通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>産学官連携事業やアカデミックリンク活動の開発と実施（2025 年度に計 10 事業）</p> <p>①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、産業界と協議を行い、実施する。</p> <p>②「千葉市こども若者市役所」の取り組みや、千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動を推進する。</p> <p>③ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、研究・活動報告会を開催する。</p> <p>④社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム「ちばフューチャーデザインカレッジ」を開講する。</p> <p>⑤産学官地域連携教育を推進するための FD・SD 研修会を開催する。</p> <p>⑥地域における教育活動支援として「県立高校、ちば産学官連携プラットフォームとの市・高大 連携による高校生への支援モデル事業（仮称）」を推進する。</p> <p>年次計画</p> <p>2020 年度 5 事業</p>
<p>進捗状況</p>	<p>①IoT、情報技術等を活用した学修については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、具体的なプログラムの実施にあたり、産業界との協議が進んでおらず、実施できていない。</p> <p>②「千葉市こども若者市役所」では、13 回のワークショップに、のべ 241 名が参加した。</p> <p>本取組や千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動の協議が開始した。</p> <p>③ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、研究・活動報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。</p> <p>④社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム「戦略経営・事業創発マネジメントスクール」を開講した。</p>

	<p>⑤産学官地域連携教育を推進するためのFD・SD研修会を2回開催した。</p> <p>⑥地域における教育活動支援として「市内高等学校への福祉的支援の在り方に関する検討委員会」を部会内に立ち上げた。</p>
点検・評価	<p>2020年度に設定した「取組の概要」は、大半実施したので、評価できる。中長期計画にも記載のある「①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、産業界と協議を行い、実施する。」については、コロナ禍の状況を見極めながら、適宜、進めていく。</p>

(2) 学生募集連携事業部会

事業計画①	PF 参加大学・短期大学合同進学説明会
事業部会	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	2. 「学生募集力」の向上（取組1）
取組の概要	<p>プラットフォームに参加している千葉市内の大学・短大が参加。各校のブースを設置し、個別相談に対応する。参加者は、高校生・保護者等を想定。とくに千葉市内の大学・短期大学の魅力について知ってもらい、学生募集力の向上につなげていく。</p>
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年10月6日(火)にちば産学官連携プラットフォームとして千葉ペリエ会場のガイダンスを実施。 ・2021年3月16日(火)に敬愛学園高校において合同進学ガイダンスを実施。 ・2021年3月25日(木)に千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部において「ちば産学官連携プラットフォーム合同模擬授業進学ガイダンス」を開催。高校1年生・2年生の計22名が参加（うち何名かは保護者同伴）。同時開催としてプラットフォーム参加校による個別相談会も実施。
点検・評価	<p>中期計画どおり進捗している。進学ガイダンスの実施回数についても昨年度よりも増加。ガイダンスの種類についても単なる進学ガイダンスだけでなく、模擬授業を中心としたガイダンスも実施することができた。今後の課題は、動員数を増やしていくことである。</p>

事業計画②	PF 参加大学・短期大学合同高校訪問
事業部会	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	2. 「学生募集力」の向上（取組2）

取組の概要	学生募集連携事業部会の 5 大学の担当者を中心に千葉市内の高校において共同での高校訪問を実施。各高校とプラットフォーム各大学・短大とのさらなる高大連携や教育政策の促進について意見交換を行うことを目的に実施する。
進捗状況	・2020年9月9日(水)に千葉聖心高校へプラットフォーム加盟の9校で高校訪問を実施。今後の連携について話し合いを行った。コロナ禍のため密にならない状態での対面型またはオンラインでの進路ガイダンスの実施を検討。高校側としては対面方式を希望とのことであった。2021年度の実施に向けて調整していく。
点検・評価	中期計画どおり進捗しているが、コロナウイルスの影響により、4月～8月頃まで高校側の都合もあり、高校訪問が実施できなかったため、数値目標である実施回数は未達成。2021年度はすでに実施した経験のある高校との関係強化はもちろん、さらに千葉市内の別の高校へも規模を拡大し、学生募集力を高めることを目指していく。

(3) 就職支援連携事業部会

事業計画①	4 大学学生合同グループディスカッションセミナー 【千葉市内の企業及び内定者と在校生との交流会の実施】(オンライン)
事業部会	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ちば産学官連携プラットフォーム加盟大学学生の交流
取組の概要	就職支援連携事業部会の活動目的の一つは『加盟校を中心とした大学に在籍する学生の就職率の向上にあるが、その中でも『千葉県内・千葉市内に本社および事業所を有する優良企業への地元就職を促進し、優秀な人材の定着から企業の価値の向上にあると考えている。そのため今回、企業と学生の交流会+内定者を交えたセミナーを開催した。(添付資料1)
進捗状況	2021年2月24日(水)に『内定者交流会～先輩と語ろう！就職活動と千葉の魅力発信～』というイベントを実施、千葉県内に事業所を持つ、(株)千葉薬品、スターツアメニティー(株)、千葉信用金庫、千葉スバル自動車(株)の人事採用担当者とそれぞれの企業に内定した4大学の学生、さらに就職支援連携事業部会の4大学の学生18名の総勢40名を超える規模で交流会を実施した。
点検・評価	A

事業計画②	ちば産学官連携プラットフォーム合同インターンシップ
事業部会	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学

活動指標	千葉県内の企業と大学との連携（取組 1）
取組の概要	千葉市を中心とした県内企業（20～30 社）とプラットフォーム加盟大学合同のインターンシッププログラム（時期）2020 年 8 月を中心とした時期に実施予定。県内企業 30 社程度と協働で実施予定
進捗状況	（第 1 部）2020 年 8 月 31 日～9 月 4 日と（第 2 部）2020 年 9 月 7 日～9 月 10 日の 2 回に分けて千葉市役所と千葉県内に本社事業所を持つ企業合計 28 社が参加しオンラインで【ちば仕事研究塾】というタイトルで各企業 1 社 90 分の講座を実施した。参加者は 4 大学の学生を中心に 1 社あたり 50 名の参加を得て延べ 1,600 名を超える学生が参加した。（添付資料 2・3）
点検・評価	A

事業計画③	地元就職応援セミナー in ちば
事業部会	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	千葉県内の企業と大学との連携（取組 1） 学生の地元就職の支援
取組の概要	千葉市を中心とした県内企業（20 社）を招へいしての企業の魅力・仕事の内容を伝える企業研究セミナーの実施。（時期）2021 年 2 月前後を予定。
進捗状況	2021 年 3 月 5 日に【～千葉県内優良企業 24 社がオンラインで参加～WEB 合同会社説明会】というタイトルで千葉県内企業 24 社が参加してのオンライン合同会社説明会を実施した。学生参加者は計 140 名。実施に当たっては（一社）千葉県経営者協会に協力をいただき実施を行った。（添付資料 4・5）
点検・評価	A

事業計画④	留学生対象就職支援 1 日セミナー
事業部会	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	学生の地元就職の支援
取組の概要	プラットフォーム加盟大学に在籍している留学生を対象とした日本での就職セミナーの開催。（時期）2021 年 2 月前後を予定（対象）プラットフォーム加盟大学の学生を中心とした大学 3 年生を主な対象とする。
進捗状況	2020 年 2 月からの新型コロナウイルスの影響を受け、加盟各大学の留学生数の減少などもあり、実施を行うほどの規模の学生が在籍していないことが確認できたため 2020 年度は実施を見送ることとなった。
点検・評価	C

(4) 生涯学習連携事業部会

事業計画①	「ちば学」リレー講座（重点課題）
事業部会	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組2） 共同で運営する社会人向け講（ちば学）を開催する。
取組の概要	当 PF 参加各大学・短期大学から1名ずつ教職員の派遣を受け、千葉（市）に関する様々な分野の講座をリレー講座として市民に提供する。講座数としては10講座程度（月1回程度、土曜日午後）を想定する。 なお会場については、当面敬愛大学生涯学習センターの提供を受ける（無償）。
進捗状況	年間11回の「ちば学リレー講座2020」を企画し、市民に提供した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4・5月は休講、1～3月はオンラインでの開催となったが、実施した講座9回に延べ101名の参加を得ることができた。今年度は、包括連携協定を締結する千葉市からも講師を招き、「ちば学」の名にふさわしい内容となった。
点検・評価	本講座はまる2年間の実績を重ね、市民の学びの意欲を高めるコンテンツを提供できるようになった。2020年度は、本講座の告知を手掛かりに、千葉市内外の公民館からも講師派遣の相談を受けることが増えたことが、特筆される。 2021年度もコロナ禍は続くと思われるが、10講座の開催を計画することができたので、その魅力の発信と内容の充実に努めたい。

事業計画②	共同で企画する公開講座・生涯学習講座等の開催
事業部会	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組1） 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	当 PF 参加各大学・短期大学が独自に企画する講座等について、 ●当 PF 共催講座の設定を促進する ●当 PF 参加大学等から、各校の主催する講座に教職員の派遣を促進する。 これらの事業遂行のため、各大学・短期大学の講座担当者との連絡強化を図る。
進捗状況	下半期から共催講座の設定や各大学の主催する講座への教職員派遣を目指したが、新型コロナウイルス感染に伴い各参画大学・短大での対応が優先され、今年度中の実施には至らなかった。
点検・評価	本事業は当プラットフォームに参画する大学・短期大学の相互協力の重要な取り組みと考えているが、新型コロナウイルスへの対応に追われることとな

	り、優先順位が後退してしまった。コロナの状況が劇的に改善することは望めないことから、2025年度までの中長期目標に示した数値目標（KPI指標）の下方修正が必要であることを、部会会議にて承認した。
--	---

事業計画③	千葉市民の自主的な学び促進事業
事業部会	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4. 「他世代の学び」の機会の提供（取組1） 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	千葉市内の公民館、生涯学習センターにおける千葉市民の自主的な学びを促進するため、千葉市教育委員会および千葉市教育振興財団と連携して、当PF参加大学・短期大学から人材の紹介・派遣（マッチング）を仲立ちする。
進捗状況	千葉市教育委員会（生涯学習振興課）および千葉市教育振興財団を通じ、今年度は4件の講師派遣（マッチング）を行った（うち1件は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて次年度に延期）。また千葉市以外の複数の自治体からもマッチングの依頼を受けた。
点検・評価	公民館等からの依頼に適切に対応し、市民の自主的な学びを促す取り組みを推進することができたが、新型コロナウイルスへの対応に伴い事業はやや低調である。コロナの状況が劇的に改善することは望めないことから、2025年度までの中長期目標に示した数値目標（KPI指標）の下方修正が必要であることを、部会会議にて承認した。

（5）地域支援連携事業部会

事業計画①	防災講話の実施
事業部会	地域支援連携事業部会
幹事校	帝京平成大学
活動指標	5. 地域の課題解決力の向上（取組1）
取組の概要	防災に関する講義のメニュー化を再検討、千葉市と再調整し、千葉市民、地域関係者、学生に向けた防災講話を開催する。実施内容は千葉市の需要優先度に対応して設定し、年度内4回の講演を、千葉市内大学および大学付属施設または千葉市役所（関連施設）で開催する。

進捗状況	9/8 (火) に稲毛保健福祉センターで開催された「大学生のための災害ボランティア入門講座」の中で、敬愛大学 地域連携センター 藤森センター長の『被災地でのボランティア活動経験と、これから求められる大学・大学生の役割』と、帝京平成大学 福家教授の『コロナ対策を含めた医学的な視点から、避難所でボランティアが気を付けること』の2講演を実施した。
点検・評価	2019年の台風15号・19号による千葉県の被害を踏まえ、「災害ボランティア」というテーマから、災害時の支援や医療について、有識者の講演を提供できたことはたいへん有意義であった。年度内実施が2講演にとどまったことも踏まえ、2021年度以降は本事業の移管予定先である生涯学習連携事業部会の参画校の協力を得ながら、引き続き地域に必要とされる防災に関する知識・情報の提供を進めていく。

事業計画②	学生消防団地域交流派遣
事業部会	地域支援連携事業部会
幹事校	帝京平成大学
活動指標	5. 地域の課題解決力の向上（取組1）
取組の概要	淑徳大学学生消防隊、帝京平成大学学生消防隊の合同イベントまたは個別派遣を、各大学学園祭や公民館等で年度内6回実施。
進捗状況	2020年度はコロナ禍のため、学生の消防団活動をほとんど実施することができない状況であった。また、市内イベントや学園祭への派遣も、その開催自体がほとんど中止となってしまったため、実施することができなかった。
点検・評価	コロナ禍により学生の動員ができない状況が継続していることから、2022年度以降、大賀ハス祭り（2021年度は中止）をはじめとする各種地域イベントへの学生消防団の派遣や、各大学学園祭への乗り入れの再開を予定している。

事業計画③	オリンピック・パラリンピック関連イベントへの学生ボランティア参加 （重点課題）
事業部会	地域支援連携事業部会
幹事校	帝京平成大学
活動指標	5. 地域の課題解決力の向上（取組2）

取組の概要	<p>オリンピック・パラリンピックに関連するイベントへの学生ボランティア参加。2020年度は1イベントあたりの学生参加数20名×年度内20イベント＝のべ400名の学生参加総数を目標とする。</p> <p>また、車いすフェンシング競技ボランティア育成・本大会参加を推進するにあたり、参加学生同士の仲間意識の醸成や、参加者が共有するレガシーとするため、部会ノベルティグッズとして、同ボランティア参加者用のTシャツまたはポロシャツを作成し、参加学生に配布する。</p>
進捗状況	<p>コロナ禍によりオリンピック・パラリンピック自体が2021年に開催延期となり、伴ってオリパラ関連イベントのほとんどが中止となった。そのため、2020年度に参加できたオリパラ関連イベント数は、パラスポーツフェスタ2020、パラスポーツ講座（車いすバスケットボール）の2件、参加学生総数は86名にとどまった。また、パラリンピックの延期、競技ボランティア活動の一時中止に伴い、グッズの製作、配布も取りやめた。</p>
点検・評価	<p>コロナ禍の現状で、当初掲げた数値目標に達することが非常に難しい状況である。コロナ禍における学生のボランティア活動に対する不安を軽減させるために、関連機関と定期的な情報共有を図り、感染症予防対策の徹底と、延期オリパラ、とりわけ障がい者スポーツ振興に向けた気運の再醸成を両立する形での、今後のボランティア活動継続を検討していく。</p>

事業計画④	千葉県イベントへの学生ボランティア参加（オリパラ以外）及びボランティア活動報告会の実施
事業部会	地域支援連携事業部会
幹事校	帝京平成大学
活動指標	5. 地域の課題解決力の向上（取組2）
取組の概要	千葉県で行われるイベントへの、年度内10回の学生ボランティア参加。及び、ボランティア活動報告会への、全部会参画校からの学生派遣。
進捗状況	<p>コロナ禍により学生を派遣してボランティア活動や報告会を実施することが困難な状況であったため、部会参画校教職員のオンライン参加による、地域支援連携事業部会が取り扱うテーマである「防災」「オリパラ」「地域支援」「ボランティア」を軸としたオンラインパネルディスカッション、『地域社会と大学の新しいかたち ～変わること/変わらないこと～』（後援：千葉県教育委員会）を10/18（日）に開催（配信）した。このパネルディスカッションを含む、各校講演者による公開講座を、オンラインシンポジウム『～距離を取りあって、手を取りあって、新しいかたちに向かって～』として、10月～12月までYouTubeチャンネルにて配信。千葉県役所の方をはじめ、多くの千葉県在住、在学、在勤の方に視聴していただくことができた。</p>

点検・評価	オリパラボランティア同様、現在のコロナ禍の現状において、感染症予防対策に留意しつつ、PF各校レベルで部分的にボランティア活動を再開してはいるものの、市内イベントにおけるボランティア活動への、PFとしての組織的な学生派遣が難しい状況が継続している。各校の学生が一堂に会する形での報告会実施も困難である。オンライン等を介した「コロナ以降」の新しいボランティア活動の提案・実施や、その活動を発表する場を提供できるよう、PFとして引き続き検討を進めていく。
-------	--

(6) 短期大学連携ワーキンググループ

事業計画	短期大学が連携することで、産学官連家に対する協力体制、共通問題の認識や情報交換、産・官・4年制大学との連携強化を図る。
事業部会	短期大学連携ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大御学短期大学部
活動指標	短大間の連携強化 プラットフォーム事業への積極的参加
取組の概要	(共通問題の認識や連携強化) コロナ禍における授業運営や学校の体制等、各短大内部で問題となっている事項や他大学の対応状況などアンケート形式での情報交換を行った。 (産官学連携に関する協力体制) 千葉明德短期大学からの発議により企業と連携した「保育系合同就職説明会」を実施した。
進捗状況	コロナ禍により、直接的な(対面での)意見交換間の機会が少なく、WGとしての事業を持つには至っていないが、短大間の連携、情報交換の場としての機能を継続していく。
点検・評価	情報交換アンケートにより、各短大の問題点に関する情報交換やコロナ対応策等を知ることができたうえ、アンケート項目にもあげられた「合同就職説明会のニーズ」について意向調査した後、10月に入り「保育系合同就職説明会」を計画し開催するなど、短大間の連携が図られた。 ただし、WGとして独自の事業を持つには至っていない。

(7) 資格取得・人材育成連携ワーキンググループ

事業計画	資格取得・人材育成連携の推進
事業部会	資格取得・人材育成連携ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大学
活動指標	ちば産学官連携プラットフォーム参加各校が実施している資格試験関連講座の連携、共同開催の可能性について検討する。
取組の概要	各校で実施している資格試験関連講座(科目)の状況の把握

	<ul style="list-style-type: none"> ・講座（科目）名、実施期間、実施方法（正課・正課外）、参加者数、費用、連携の可能性の有無 ・共同で開催されると良いと考える資格試験関連講座 <p>各校の公務員試験対策講座の実施状況、実施希望状況の把握</p>
進捗状況	連携を希望する講座を把握するため、アンケート調査実施（8月）。回答を受けて、連携して実施すると良いと考えられる講座について検討した。
点検・評価	<p>コロナ禍の外出制限や交流制限も影響し、共同開催したい（できる）とする事業は少ないが、連携して実施が可能だと考えられるものとして、対象者別に</p> <p>【学生】単位互換制度の拡充や就職支援連携部会などで実施の検討 【地域住民】生涯学習連携事業部会で実施などで実施の検討が考えられる。</p> <p>当WGは構成員が少なく、コロナ禍の影響もありWGとしての活動も限られる状況であった。</p>

（8）こども子育て支援連携ワーキンググループ

事業計画①	PF 参画校附属の子育て支援施設間の連携
事業部会	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	参画校附属の子育て支援施設（乳児から幼児までの親子のふれ合いの場）間の連携を強化する。（取組1）
取組の概要	連携強化のための調査・研究、子育て支援の必要性の掘り起こし、及び必要な支援活動の形態の検討（年4回予定）
進捗状況	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各施設ともに運営休止の状況が長期にわたったため、各施設の現状報告程度にとどまった。
点検・評価	後期から徐々に、利用人数を制限しての運営を始めてはいるが、本格稼働にはほど遠い状況であるため、本来の目的は達せられていない。当面は情報交換程度が続くと思われる。

事業計画②	子育て世代への共同講座の開催
事業部会	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	幼児期から学童期を通じたこどもの発達に伴う親としての成長を支えるための共同講座を開催する。（取組2）
取組の概要	<p>幼児期の親向けの講演会の開催（年6回予定）</p> <p>テーマ「子育てが困難な子への必要な養育方法について」</p>

<p>進捗状況</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、共同での講座は対面形式を避け、YouTubeに「ちばこども子育てスポット」を設けて、各校から順次子育て講座をアップして実施した。</p> <p>第1回子育て講座 「落ち着きのない子」</p> <p>第2回子育て講座 「不安の強い子」</p> <p>第3回子育て講座 『『くんちゃんのだいいりょこう』に見るこどもの支え方—アタッチメントに触れながら—</p> <p>第4回子育て講座 「お父さんのための子育て講座—赤ちゃん編—」</p>
<p>点検・評価</p>	<p>コロナ禍でスタートが遅れたが、対面形式に変わる YouTube チャンネルによるオンデマンドでの子育て講座を開始することができた。目標の6講座には届かなかったが、年度内に4講座までアップすることができた。各講座へのアクセス数は①114回 ②123回 ③107回 ④66回 合計410回となっている。(2021年6月7日現在)</p>